

見えないところまで手を抜かない 仕事へのこだわり 妥協せずに続けてきた職人の道



H I T O



S H I G O T O

白浜町に工場を構える株式会社 Tie Ear。钣金塗装や車検、中古車販売など、自動車に関する幅広い業務を手掛けており、事故で傷ついた車も数多く預かっている。「事故に遭うと、車だけでなく、持ち主の心も傷つくんです」そう話す川口さん。愛車を修理に持ち込む人は、不安な気持ちを抱えている。だからこそ、「預かった車は見えない部分まできちんと元通りにしたい」と話す。

「僕らの仕事は、修理で預かった車を元の状態に戻すことが基本。事故に遭われたお客さまは不安なんです。だからこそ、預かったからには手抜きはしたくないんです。とどき、預かった車を分解したときに、“以前修理されているけど、これでいいのか”と思うような仕事を見ることがあります。僕は同じプロが見たときにも、“ここまでやっているのか”と思ってもらえる仕事したいんです。ただ、特別なことをしているつもりはありません。それが私にとっての“当たり前”なんです」Tie Earでは、修理が終わった車は洗車や車内清掃を行い、できる限りきれいな状態でお返ししています。自費で修理するお客さまに対しては、必ず事前に見積もりを提示。修理内容や費用について丁寧に説明し、お客さまが納得したうえで作業を進めています。川口さんがTie Earを立ち上げたのは、15年前です。姫路市京口町の自動車整備工場で長年経験を積み、2年間社長を経験した後に独立しました。とはいえ、最初から自動車業界を目指していたわけではなかったといいます。「中学を卒業して、職業訓練校の自動車科に進学したんです。もともと鉄工所に就職するつもりでしたが、車好きの友人に無理やり誘われて自動車業界へ(笑)。それ以来なので、もう40年以上になりますね。途中で投げ出すのが嫌いなんです」起業してからこれまでに、さまざまな苦労もありました。コロナ禍や世界情勢の影響による材料不足や価格高騰にも直面。修理したくても材料が手に入らず、思うように作業が進められないこともあるそうです。中途半端な仕事はしたくない。そんな想いから、あえて修理を待ってもらうこともあるといいます。そうした中でも、仕事のやりがいになっているのは、お客さまからの言葉です。「修理を終えて返したときに、“買い替えようと思っていたけど、まだ乗りたい”と

言ってもらえることがあるんです。それが一番うれしいですね」現在は、若手社員の育成にも力を入れています。川口さん自身、若い頃は先輩から厳しく指導を受けてきました。「負けず嫌いな性格で、人より上手になりたいという気持ちが強かったですね」厳しい時期を乗り越えたことが、大きな財産になったと話します。「この仕事は、感覚が大事なんです。その感覚は経験を積むからこそ身に付く。つらくても負けずに頑張ろうという気持ちがないと、成長できないと思っています」技術を身に付けてほしいと思うからこそ、若手の社員には厳しく指導しているといいます。「僕自身、若い頃に厳しく言われて良かったと思っています。今の人も、“あのとき厳しく言われて良かった”と思ってもらえるときが必ずくると信じています」



これからの思いと夢

「今、将来自分で商売したいという人を預かり、仕事を教えているところなんです。うちで身に付けた技術や経験を生かして独立し、世の中に出ていくのを見るのはうれしいですね。誰からも信頼される人になってほしい。“Tie Ear出身だったら安心”と言われる人になってほしいですね」40年以上にわたり車と向き合い続けてきた川口さんですが、「仕事は嫌いなんです」と言って笑います。「嫌いなのに、仕事をしていないと、いてもたってもいられない。あまのじゃくですね(笑)。これから僕も年を取って、この仕事から手が離れるときが必ず来ますが、多分また仕事したいと思うでしょうね。きっと車を触りたくなるんじゃないかと思います」と仕事への熱い思いを語ってくれました。

川口さんは、姫路市京口町の自動車整備会社で長年経験を積んだ後、株式会社 Tie Ear を設立しました。見えない部分まで手を抜かない丁寧な仕事信条。40年以上にわたって磨いてきた技術を生かし、地域のお客さまのカーライフを支えています。

株式会社 Tie Ear 代表 川口 勉さん
〒672-8022 姫路市白浜町宇佐崎南2丁目36-2
TEL.079-240-6618

File

姫路経済情報誌 ファイル

2026

NUMBER

205

特集

START UP -起業家紹介- ・・・P4.5

人とのつながりを力に、海外市場へ挑戦
日本の“おいしい”を世界に届けるBell株式会社

Bell株式会社(Bell inc.)
近藤 圭介さん

指針

姫路公共職業安定所長
和田 顕也さん ・・・P2

TOPICS

姫路市女性活躍推進企業表彰
株式会社ワンステップ ・・・P3

特集

チャレンジものづくり企業 ・・・P6.7
株式会社ヒライコーポレーション 平井 誠司さん

巻末
特集

姫路のひと×しごと ・・・P12
株式会社 Tie Ear 川口 勉さん

Himeji-Keizai Johoshi-File

ハローワーク姫路は企業の人材確保等の推進、求職者のニーズに応じた支援の推進に取り組めます。

わだ けんや
姫路公共職業安定所長 和田 顕也



令和8年4月、姫路公共職業安定所長に就任しました和田です。
ハローワークの業務推進につきまして、平素から格別のご理解とご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。
さて、県内の雇用情勢は、令和8年4月の有効求人倍率は0.94倍となりました。持ち直しの動きが弱まっており、物価上昇等が雇用と与える影響に注意する必要があります。一方で、多くの産業で従業員の高齢化が進んでおり、引き続き人手不足であるとの声も聞かれています。このような情勢の下、ハローワーク姫路では、企業の人材確保に向けた支援、求職者のニーズに応じた支援に取り組んでまいります。

1 人材確保の支援

(1) 求人充足サービスの充実

求人内容について、求人情報の詳細及び明確な記載、応募につながりやすい条件への変更などの助言の実施、求人者向けセミナーの開催など、求人充足に向けたコンサルティングを実施しています。

また、積極的な事業所訪問等により求人票に記載されていない情報を収集し、ハローワーク内での掲示や動画の放映、事業所見学会・説明会・面接会等のイベントの開催、SNSを活用した情報提供など、求職者に対して仕事の魅力を伝えるための支援を推進しています。



(2) 人手不足分野における人材確保支援

医療・介護・保育・建設・運輸・警備分野については、人材支援総合コーナーにて、担当者制によるきめ細かな職業相談・職業紹介を実施するとともに、セミナーや見学会等により業界への興味・関心を深め、面接会等の開催により重点的なマッチング支援を実施しています。

特に、診療報酬・介護報酬等の公定価格で運営される医療・福祉分野については、「医療・福祉をささえる求人充足プロジェクト」と銘打ち、全ハローワークの最重点事項として求人充足支援に取り組んでまいります。

2 求職者のニーズに応じた支援の推進

(1) 求職者の課題解決に向けた支援サービス

就職する上で解決すべき課題等を的確に把握し、その解決のために必要な支援として、自己理解、仕事理解、ニーズに沿った求人情報の提供、応募書類の添削、面接指導等の課題解決支援サービスを推進しています。

(2) 多様な人材の活躍促進

子育て中の女性等、障害のある方、シニア世代、外国人労働者、就職氷河期世代を含む中高年層（ミドルシニア）、新規学卒者等・若年者など、ハローワーク姫路ではそれぞれ専門窓口を設置し、ニーズに応じたきめ細かな就職支援に取り組んでいます。

3 障害者・高齢者の活躍に向けた雇用指導・支援

(1) 障害者の雇用率達成に向けた雇用指導・支援

令和8年7月から法定雇用率の引上げ（民間企業2.5%→2.7%等）により、今後、雇用率未達成となる企業が増加する可能性がありますので、新たに雇用義務が生じる企業も含めた周知・啓発を実施し、障害者の計画的な雇い入れを促進してまいります。

また、障害者雇用の経験やノウハウが不足している企業に対して、各種支援機関と連携し職場環境の整備から紹介、定着支援など企業ニーズに沿った企業向けチーム支援を行っています。

(2) 高齢者の雇用継続の促進等

高齢者の雇用継続の促進につきましては、令和3年4月から努力義務とされている70歳までの就業機会を確保する高齢者就業確保措置の導入に向け企業への周知・啓発に取り組んでいます。

ハローワーク姫路では、今後とも姫路市や地域の団体・企業の皆さまと連携・協力をいただきながら、地域の活性化につながるよう各種雇用施策を推進してまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

第8回 姫路市女性活躍推進企業表彰

姫路市では、女性の育成・登用や職場環境の改善等、女性の活躍に積極的に取り組む企業を「姫路市女性活躍推進企業」として表彰しています。第8回は「株式会社ワンステップ」が受賞しました。

今後も、表彰による様々な女性活躍の取組みの紹介を通して、男女共同参画の実現に向け取り組んでいきます。

受賞者紹介

株式会社 ワンステップ

業 種： 小売業（通信販売事業等）

所 在 地： 姫路市北条口2-66

従 業 員 数： 190人（男性68人・女性122人）【令和7年10月現在】

受賞のポイント

・トップの強い意志の元、女性活躍推進のための課題を的確に認識し、全社一丸となって組織的・戦略的な対策に取り組まれている。

・従業員が子育て中でも安心して働き続けられる保育園をつくりたいとの想いから、看護師の常駐する体調不良児対応の企業主導型保育園を運営している。受賞企業の従業員は保育料が無償であるため、多くの従業員が利用している。

・受賞企業は、かつて男性職員と比較して、女性職員の平均勤続年数が短いことを課題として、女性が働きやすく、長く勤められる会社を目指し、女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画（計画期間2022年4月～2027年3月）において女性職員の平均勤続年数を7年以上とする目標を掲げ、すでに達成している。

・コンプライアンスに関する相談や不正行為等の早期発見および未然防止を目的として、内部通報窓口を社外の法律事務所に設け、ハラスメントに関する相談も同じ窓口で対応するなど、職場環境の悪化を防ぐ仕組みが整えられている。

・子供の体調不良時や介護事由で利用できるテレワーク制度や時短勤務制度を導入するなど柔軟な働き方がしやすい職場環境が整備されている。

・育児と仕事を両立する従業員が集まる意見交換会や女性特有の健康課題をテーマとした管理職向けセミナーを実施している。

・各世帯にロッカーを貸与する定額制ネットスーパー事業の展開を通じて、買い物難民の解消や、子育て世帯など共働き世帯の家事労働の軽減を図っており、女性活躍社会の実現にも貢献している。

・役員4名中2名が女性と、半数を占めている。



姫路市女性活躍推進企業表彰 表彰候補企業募集のご案内

女性の育成・登用や職場環境の改善等、女性の活躍に積極的に取り組む企業を、「姫路市女性活躍推進企業」として表彰します。表彰候補企業を募集していますので、ぜひご応募ください。令和8年度から、応募期間を設けない通年募集となりました。

詳しい募集内容や申込方法は姫路市男女共同参画推進センターのホームページをご覧ください。

姫路市 女性活躍推進企業表彰

検索

申し込み・問い合わせ

男女共同参画推進センター
“あいめっせ”

〒670-0012 姫路市本町68番地290 イーグレひめじ3階（あいめっせ）
TEL.079-287-0803 FAX.079-287-0805
E-mail:i-messae@city.himeji.lg.jp

HIMEJI UP START 2026 起業家紹介 INTERVIEW

Bell株式会社 (Bell inc.) 代表取締役 近藤 圭介さん

東京の信用金庫勤務を経て姫路で起業し、現在は日本のお菓子をアメリカへ輸出する事業を手がける。独立のきっかけは、大学のアメリカンフットボール部時代に信頼を築いた後輩からの一本の相談だった。人とのつながりを何より大切にし、メーカーや物流会社、海外パートナーを「チーム」として結びながら、日本のお菓子とその背景にある文化を世界へ発信。姫路を拠点に、地域の魅力を海外へ届ける挑戦を続けている。



実際に商品を卸しているニューヨークのアジア系スーパーマーケット（撮影：近藤氏）



Bell株式会社

〒670-0057 姫路市北今宿3-5-5-4 TEL.070-9034-5361

2024年設立。日本のお菓子を中心とした食品をアメリカへ輸出するほか、米国市場への輸出支援も行っています。米国のパートナー企業（輸入商社）と連携し、主にアメリカのチャイニーズ系スーパーへの販路を展開。現地企業には日本人スタッフも在籍しているため、日本メーカーも安心して取引できることが強みです。アメリカFDA対応や成分表示の確認など、輸出に必要な手続きをサポートしながら、日本のおいしさと食文化を世界へ発信しています。



ホームページ

人とのつながりを力に、海外市場へ挑戦 日本の“おいしい”を世界に届ける Bell 株式会社

以前は、東京の信用金庫で働いていました。起業したのは、アメリカで日本のお菓子の輸入に携わっている後輩から、声をかけられたことがきっかけです。彼は、私が大学時代アメリカンフットボール部でキャプテンを務めていたときの後輩でした。所属するアメフト部では、代々キャプテンが次のキャプテンを指名する伝統があり、私は彼を指名したんです。彼のことは当時から信頼していましたし、良い仲間たちに恵まれた幸せなキャプテンだったと思います。人とのつながりの大切さを学んだのも、その頃だったかもしれません。

あるとき彼から、アメリカのチャイニーズ系スーパーで日本のお菓子の需要が高まっているという話を聞きました。そこから現地のニーズや事業の可能性について何度も話し合い、お互いの考えや強みを持ち寄りながら輸出事業の形をつくっていったんです。私自身も前職時代、JETRO（日本貿易振興機構）へ向出し、貿易業務に携わっていたこともあり、ある程度の知識がありましたし、いつかは自分の力で商売をしたいという思いも持っていました。妻も「いいんじゃない?」と背中を押してくれましたし、こんなチャンスは二度と来ないかもしれないと思い、独立を決意しました。前職の同僚や上司も、私の決断を応援してくれました。

関西で起業したのは、アメリカ現地から関西の商品を輸入したいという要望があったからです。神戸港や大阪港は輸出に強く、メーカー様も関西圏に多いんです。移住先に姫路を選んだ決め手は、兵庫県や姫路市の移住支援制度を利用できたことでした。ただ、まったく知らない土地で、ゼロベースでスタートするのはやはり不安だったのですが、現地の後輩と売上や利益のシミュレーションを何度もしました。彼も、責任感を持ってやり取りをしてくれていたのも、お互いを信じて一緒に形にしていこうと思ったんです。

私は、メーカー様や物流会社様、現地のパートナーのことを、みんなで一緒に商品を届ける「チーム」だと思っています。お互いに良い関係を築いた上で商品が動かなければ、意味がありません。お金を払う側だからといって偉いわけではなく、常に対等な立場で仕事をしたいと思っています。もちろんビジネスなので交渉が必要な場面もありますが、できるだけ腹を割って正直に伝えるようにしています。そうすると、相手もきちんと応じてくれます。大変なこともあります。そうしたやり取りもこの仕事の面白さですね。



こだわりの 品質

輸出するお菓子はすべて試食しています。自分が味が知らない商品は勧められませんから。サンプル品を送る際は、フレーバーのラインナップをまとめて送り、現地の反応を見ながら商品を絞り込み、最終的な提案につなげています。同じ原材料を使っても、産地によって風味や味わいは大きく異なります。例えば、海外では抹茶ならどれも同じと思われがちですが、日本産と海外産では味わいに大きな違いがあります。そうした日本ならではのおいしさや魅力も含めて伝えていきたいですね。

為替や現地情勢の影響を受けて、思うように出荷が進まない時期もありました。そんなときは、とにかく今できることをやるという気持ちで乗り越えてきました。起業して一番うれしかったのは、最初のコンテナをアメリカへ送り出したときです。本当に出荷できたんだと実感しましたし、現地のスーパーの棚に商品が並んでいる写真が送られてきたときは感動しました。1年に2回は現地視察を行い、メーカー様にも、現地での販売状況や売れ筋商品などをフィードバックするようにしています。

現在は約20社のメーカー様と取引しています。アメリカ向けに輸出するには、原材料や賞味期限など、クリアしなければならない課題が数多くあります。日本では認可されていても、アメリカでは使用できない成分もあるため、メーカー様にどのようにすれば輸出することができるかと相談することもあります。また、コンテナで輸送するため、賞味期限を延ばす工夫が必要になることも少なくありません。輸出用ラベルも自社で作成しており、成分表示を一つひとつ確認しています。手間はかかりますが、自分たちで行うことで成分に関する知識が深まり、成分変更があった場合にも柔軟に対応できます。さらに、商品のパッケージはあえて英語表記に変更せず、日本語のデザインをそのまま残しているメーカー様もいらっしゃいます。海外のお客様に「日本の商品であること」を一目で伝えたいという思いがあるからです。

多くの課題を乗り越えながら準備を重ねた商品が無事に海を渡り、海外のお客様の手に届いていることを実感したときは、この仕事ならではの大きなやりがいを感じます。細かな調整や確認作業の積み重ねは決して簡単ではありませんが、その一つひとつが日本の品質と信頼を支えていると考えています。これからも妥協することなく、商品に込められた価値や想いまで含めて世界へ届けていきたいですね。

今後はアメリカ向けのルートをしっかり固めたうえで、他の国にも販路を広げていきたいと思っています。また、関西に軸を置きつつ、関東にも拠点を持たたいです。私たちが届けたいのはお菓子だけではなく、日本の文化そのものです。せっかく姫路に移住してきたので、姫路のお菓子をはじめ、地域ならではのおいしさや魅力も世界に紹介していきたいですね。



こだわりの つながり

Bell株式会社のポリシーは、「人を大切にすること」です。人との出会いがなければ、この仕事は成り立ちません。だからこそ、メーカー様とはできるだけ直接お会いし、コミュニケーションを取ることを大切にしています。信用金庫時代、多くの経営者の方と接する中で、事業がうまくいっている方ほど人とのご縁を大切にしていると感じました。その経験から、私自身も積極的に足を運び、直接お話しするようにしています。メールや電話だけでは伝わらない想いや熱量がありますし、直接会うことで信頼関係も深まります。これからも人とのつながりを大切にしながら、一つひとつのご縁を育んでいきたいですね。

01

人とのつながりを大切に!

起業して改めて感じるのは、人とのつながりの大切さです。私自身、大学時代の後輩からの声掛けがきっかけで起業しましたし、今もメーカーさんや物流会社さんなど多くの方に支えられています。姫路へ移住してからは、「起業プラザひょうご姫路」を利用しました。利用者同士で情報交換をしたり、自分では知らなかったことを教えてもらったりする機会もあり、とても助かりました。起業を考えている方は、一人で抱え込まず、人とつながれる場所を積極的に活用してみると良いと思います。

※「起業プラザひょうご姫路」は令和8年9月末ごろに閉所し、10月以降は神戸へ機能が集約される予定です。

02

自分なりの判断基準を持つ

「やりたい」という気持ちだけでなく、自分なりの判断基準を持つことが必要だと思います。私の場合は、「売上がどの程度見込めるか」「アメリカ向けの取引が成功するか」という基準をクリアできたから起業に踏み出しました。為替のタイミングや現地パートナーとなる後輩の会社の経営が成り立つのかといったことも考えたうえで決断しました。起業にはリスクもありますが、判断基準が明確になっていれば、不安も小さくなります。マーケットの可能性や事業の継続性も含めて冷静に考えることが大切だと思います。

(起業 アドバイス!)
ADVICE



株式会社ヒライコーポレーション
代表取締役 平井 誠司 さん

生まれも育ちも姫路市。父の後継者としてイギリスに留学し、皮革製造を学ぶ。帰国後は家業を継ぎ、海外で培った知識と日本のものづくり文化との違いに戸惑いながらも、父や職人たちから技術を学び、その本質を吸収してきた。日本ならではの繊細で丁寧なものづくりに大きな可能性を見出し、藍染めレザーの開発に挑戦。姫路の高度な皮革技術と日本の伝統文化である藍染めを融合させた新たな素材を通じて、その価値を世界に発信することを目指している。



CHALLENGING SPIRIT

ものづくり
企業の

令和7年度
姫路市ものづくり開発奨励補助採択企業紹介

姫路のものづくりの魅力や可能性を発信！

伝統を受け継ぎながら、新たな価値の創造に挑む。
姫路から未来のものづくりを切り拓く企業の技術や
想いを紹介します。

令和7年度
「姫路市ものづくり
開発奨励補助金」
交付対象製品

純インディゴ100%で染色した

「姫路産純インディゴソフトレザー」の開発に成功

「姫路産純インディゴソフトレザー」は、純インディゴ藍のみを使用して染色した、薄くて軽く柔らかな革素材です。従来の藍染めレザーでは表現が難しかった、藍ならではの美しい発色や奥行きのある色ムラ、革本来の風合いを併せ持っています。特長は、厚さ1.0mm以下でありながら十分な強度と柔軟性を実現していることです。従来の純インディゴ藍による藍染め革は、染色回数や原料供給の制約から発色性や堅牢性に課題がありましたが、本製品では染色堅牢度と強度を大幅に向上しました。製法やコスト面の課題から、純インディゴ100%で仕上げたソフトレザーは世界的にも極めて希少です。世界中のブルーレザーと明確に差別化できる素材として、新たなデザインやブランド価値の創出が期待されています。

純インディゴ藍100%でソフトレザー化に成功 世界に通用する“ジャパンプルー”を目指して

開発のきっかけ・開発に込めた想い

開発のきっかけは、姫路・西はりま地場産業センターから藍染めレザー開発への協力を依頼されたことでした。藍染めレザーの研究は、当時すでに10年以上かけて進められていたものの、なかなか成果を得られず、開発は停滞していました。実際に試作品を見せてもらうと、革本来の風合いや質感が失われており、色は染まっているけれど革として成立していなかったのです。そこで1週間ほど預からせてもらい、自分の持てる知識や経験を総動員して改良したところ、関係者が驚くほどの仕上がりにになりました。とはいえ、私の中ではまだ60点程度の出来栄でした。革としての透明感や発色に、改善の余地が多く残っていました。一方で、藍染め天然皮革の開発プロジェクト自体は事業達成により終了したため、国の補助金を活用しながら、実用化に向けた開発を続けました。転機となったのは、香港のレザーフェアへの出展でした。パリの展示会関係者から、「これは日本を代表する革になる。ぜひパリに来て出展してほしい」と誘われたのです。その後、フランスのブルミエール・ヴィジョン展に出展すると、世界中のバイヤーやデザイナーがブースに押し寄せ、大きな反響をいただきました。特に印象に残っているのは、「藍染めレザーは、従来の日本産の革と違ってオリジナリティがある」という評価です。実際、私自身も長年さまざまなブルーレザーを作ってきましたが、純インディゴ藍が生み出す発色はそれまで見たことがありませんでしたし、従来の染料や顔料でも再現を試みましたが、同じ色は出せませんでした。だからこそ、この色そのものに意味があると思ったのです。その時に初めて、藍染めが「ジャパンプルー」として評価されている理由を実感し、この素材は世界で戦える可能性があるかと確信しました。また、コロナ禍には国内の展示会にも出展し、アパレル分野で使える軽くて柔らかな革素材へのニーズが高まっていることを知りました。一方で、国内外の皮革市場は縮小傾向にあり、従来の発想だけでは新たな市場を切り開くことは難しいとも感じていました。そこで本格的に取り組んだのが、薄くて軽く、柔らかな「ソフトレザー」の開発です。ファッション業界では軽量化やミニマム化の流れがありましたし、実用化されればバッグなどのデザインの幅も広がります。従来、藍染めのソフトレザーは難しいとされていた領域でした。ここまできたらもはや“意地”でした。誰もできないと言うなら、自分がやってみよう。そんな気持ちで挑戦を続けた結果、ようやく納得できるレベルにまで上げることができたのです。振り返れば、そこまでやる必要があるのかと言われるような部分にまでこだわり続けてきました。しかし、その妥協しない姿勢こそが、日本のものづくりの価値であり、日本産の皮革ならではの魅力につながっていると感じています。

開発のこだわり・工夫

今回の開発で最も苦労したのは、藍染めの色を安定して再現することでした。インディゴ藍を使った染色は、同じ工程で作業しても、前回と同じ色が出るとは限りません。実際に「先週はうまくできたのに今日はできない」ということが何度もありました。商品として販売する以上、お客さまが求める品質を安定して提供しなければなりません。その再現性を確立することが大きな課題でした。原因を探るために、染色時の条件や作業内容など、あらゆるデータをどんな些細なことでも全て記録し、AIによる分析も試みましたが答えは見つかりませんでした。調べていくうちに、湿度や天候、作業を始める時間帯など、一見関係のなさそうな要素まで仕上がりに影響していることが分かってきました。そこで発想を変え、「工程をそろえる」のではなく「仕上がりをそろえる」ことにしたのです。たとえば、同じ条件で処理した革でも、8回染めることで理想の色に達するものもあれば、20回以上染めなければ届かないものもあります。そのため、一枚一枚の革の状態を見極めながら染色回数や工程を調整し、最終的に同じ品質へと上げていきました。データは重要ですが、それだけでは解決できない部分があります。革の状態を見ながら、一枚一枚どこでOKを出すのかを判断する。そうした経験や感覚の積み重ねが、今回の開発を支えた大きなポイントだったと思います。

世界に誇れる日本独自のレザーを届けたい

「このジャンルだけは日本にはかなわない」と言われるような革になってほしいと思っています。世界にはさまざまな素材がありますが、藍染めレザーには日本ならではの美しさと独自性があります。そうした強みを活かしながら、世界的に見ても突出したデザインや製品に採用され、世界へ発信されていけばうれしいですね。また、これまで革では難しいとされてきた分野や、合成素材が主流だった市場にも挑戦したいと思っています。姫路の皮革産業についても、他の地域には真似できない得意分野を伸ばしてほしいですね。藍染めレザーもその一つとして、姫路ならではの新しい価値を生み出していければと思います。

開発
秘話

不必要なスペックへのこだわり

実は、1年以上前にはすでに一定の完成度に達していました。それでも、ヨーロッパのバイヤーやデザイナーが見ても文句のつけようがないレベルを目指し、さらに1年をかけて改良を重ねました。ある意味では、オーバースペックだったのかもしれませんが、その妥協のないこだわりこそが「メイドインジャパン」の強みだと思っています。自分たちにしか作れないものを生み出すこと—それが私たちのポリシーです。



「青」を見極める感性

もともとは黒が好きだったのですが、今はブルーに惹かれますね。私は「青」を48色に分類しているのですが、今では見ただけで「何番の青か」が分かるようになりました。少し黄色みがあるとか、赤みが強いとか、その微妙な違いも自然と感じ取れるようになりました。とはいえ、意識して身につけた能力ではありません。長年ものづくりに向き合う中で、自然と培われた感覚だと思います。数字やデータだけでは捉えきれない感性も、良いものを生み出すためには欠かせない要素だと感じています。



INFO

株式会社ヒライコーポレーション

1954年創業。姫路に拠点を置き天然皮革の製造・販売を手がける。国内外向けに皮革素材や関連製品を提供し、長年にわたり皮革産業を支えている。高品質な素材づくりに取り組み、職人技術を活かした製品開発を行っている。

〒671-0256 姫路市花田町高木21
TEL.079-224-8505 FAX.079-222-9113
HP.<https://hirai-leather.jp>

（低濃度）PCB廃棄物の処理期限は 令和9年3月31日です

ポリ塩化ビフェニル（PCB）を含む電気工作物（変圧器、コンデンサーなど）を保有する事業者は、PCB特別措置法に基づき、期限内（**令和9年3月31日まで**）に処理する必要があります。現在使用中の低濃度PCB含有機器についても、期限内に処理を完了させてください。以下の支援制度についてもご確認を。なお高濃度PCB廃棄物の処分は終了していますが、新規発見した場合は直ちに市に連絡してください。

支援制度の問い合わせ

公益財団法人 産業廃棄物処理事業振興財団
（予算の範囲内で早期に終了の場合あり。）

- （1）中小企業（個人事業主含む）向け適正処理支援制度
低濃度PCB助成金コールセンター TEL 0120-427442
- （2）PCBに汚染された変圧器の高効率化のための補助金制度
変圧器補助金事務局 TEL 03-4355-0161

中小企業（個人事業主含む）向け
適正処理支援制度



PCBに汚染された変圧器の
高効率化のための補助金制度



問い合わせ▶ 姫路市廃棄物対策課
TEL.079-221-2405

海外展開相談会を実施します！

海外展開相談会は、海外でのビジネスを進めるうえで直面する課題や疑問にお答えする、海外ビジネスに関するよろず相談会です。これから輸出入を始める方、海外での販路拡大をお考えの方などを対象に、豊富な経験と知識を持った専門アドバイザーが皆さんの相談にお応えします。

日時 各日10時00分～17時00分（相談時間は原則60分以内）
令和8年9月8日（火）／令和8年10月13日（火）
令和8年11月10日（火）／令和8年12月8日（火）
令和9年1月12日（火）

会場 姫路市地場産業センター 5階会議室

対象 播磨圏域の中小企業者
（姫路市、相生市、加古川市、赤穂市、高砂市、加西市、宍粟市、たつの市、稲美町、播磨町、市川町、福崎町、神河町、太子町、上郡町、佐用町）

申込方法 ジェトロHPよりお申込みください。
（申込期限：各相談会の1週間前）

HPはこちら



問い合わせ▶ 姫路市産業振興課
TEL.079-221-2507

生涯現役社会の
実現に向けて

働くシニアも応援する シニア活躍事業所を募集



年齢を重ねても、いつだって生涯現役で働きたい。
そんなシニア世代を応援する「シニア活躍事業所」を募集します。

募集期間

令和8年7月1日（水）から令和8年8月31日（月）まで

応募条件

- 以下の全ての要件を満たす事業所（個人・法人を問いません。）
- ①姫路市内に所在
- ②申請時に65歳以上の人を雇用している
- ③満70歳まで就労可能
- ④風俗営業法第2条第1項に規定する風俗営業を営んでいない
- ⑤姫路市税の滞納がない
- ⑥暴力団や暴力団員との関係がない

「シニア活躍事業所」に認定されると…

- ▶10月以降に認定証とロゴマーク（ステッカー）を送付します。
- ▶ロゴマーク（データ）は、事業所のウェブサイトや求人広告などに使用できます。
- ▶姫路市公式ウェブサイトや当室主催イベントのパンフレットなどで、事業所名やシニア雇用の取り組みを紹介します。
- ▶認定は3年更新となります。

これまで
認定された
事業所一覧



詳しくは
姫路市 シニア活躍 検索

WEB



申込みは
こちら



問い合わせ▶ 姫路市高齢者政策課 TEL.079-221-2986

令和8年度 企業人権教育研修会

テーマ 自分らしく生きるための人権文化

詳しくはこちら



姫路市では「人権文化に満ちた人間都市『ひめじ』の実現」に向けて啓発事業等に取り組んでいます。では、「人権文化」とは？「人権文化を生きる」とは？「人権文化の構築」という視点から、人権教育の研究に取り組んでいる講師の講演です。

講師 平沢 安政さん（大阪大学名誉教授） **日時** 令和8年11月4日（水）14:00～15:30
場所 姫路市市民会館3階 第2会議室（中ホール） **参加費** 無料
定員 150名 **申込締切** 令和8年10月23日（金）

※要事前申込（はがき、FAX、ホームページの応募フォームにて）、応募者多数の場合は抽選
※要約筆記・手話通訳あり

主催：姫路市・姫路市教育委員会・姫路商工会議所



講師 平沢 安政 さん
（大阪大学名誉教授）

問い合わせ▶ 姫路市人権啓発センター TEL.079-282-9801 FAX.079-282-9820

介護職員養成研修の受講料の一部を助成します！

姫路市では、介護職を目指す人の就労支援を図るため、介護職員初任者研修又は実務者研修を修了し、介護サービス事業所に勤務された方に対し、研修受講料の一部を助成しています。

予算がなくなり次第
終了となります！

- ◆ **対象者** 次の条件を全て満たす人①過去1年2か月以内に研修を修了し、受講料を支払済み②研修修了後、介護保険サービス事業所に3か月以上在職している（市外在住の場合は、市内の介護保険サービス事業所等に限る）③申請時に介護保険サービス事業所に就労している④住民税の滞納がない⑤暴力団員でない⑥ハローワークなど他の機関等から受講料の補助を受けていない
- ◆ **申請期限** 令和9年3月5日（金）まで。ただし、予算がなくなり次第終了となります！
- ◆ **助成額** 研修受講料の半額又は補助上限額（初任者研修：35,000円、実務者研修：50,000円）のうち、いずれか低い額。
- ◆ **申請方法** 申請書をホームページからダウンロードし、必要書類と一緒に介護保険課（市役所2階）へ。詳しくはホームページへ！

問い合わせ▶ 姫路市介護保険課 TEL.079-221-2923



詳しくはこちら



看板

印刷

看板製作施工・屋外広告物の安全点検・大判出力・印刷・はんこ
あらゆるニーズに対応します

有限会社 **伊村工業**

〒671-1574 兵庫県揖保郡太子町松ヶ下182-1

TEL. 079 **276-1628**

FAX.079-276-0642 info@nkougei.co.jp

はんこ

ノベルティ
名入れ



城下町の小さなデザイン事務所

SEEDED
Creative Design

〒670-0940
姫路市三左衛門堀西の町23番地 ドミール姫路
TEL: 079-282-6575
FAX: 079-282-7646
Mail: seed@gaia.eonet.ne.jp



ご協賛・ご寄付のお願い

「ル・ポン国際音楽祭2026」への協賛・寄付のご協力を

ル・ポン国際音楽祭は、姫路にゆかりのある世界的ヴァイオリン奏者の榎本大進さんを音楽監督として毎年秋に開催しており、今年は9月13日(日)～9月20日(日)に赤穂市で2公演、姫路市で4公演(姫路城二の丸特設会場、アクリエひめじ大ホール)の計6公演を実施します。

本音楽祭は、一流演奏家による他では聴くことのできない演奏会を低廉な料金で提供したいという榎本音楽監督の思いに賛同した演奏家がボランティアで出演しています。つきましては、この趣旨に賛同していただける企業・個人の皆様からの協賛・寄付を募集しています。

ご協賛をいただいた企業には、希望される公演にご招待するほか、今年から様々な協賛特典を拡充しています。

詳しくはル・ポン国際音楽祭のホームページをご覧ください。



▶ 詳しくはル・ポン国際音楽祭のホームページをご覧ください



問い合わせ▶ 姫路市国際戦略室 TEL.079-221-2098 MAIL.ongakusai@city.himeji.lg.jp

令和8年度 兵庫県立ものづくり大学校 在職者訓練のご案内

8 9 10 月分

企業に在職中の方を対象に、さまざまなスキルアップを図るメニューを用意しています。

	講座名	日程	時間	受講料
基礎講座	わかりやすいNC旋盤	8/21(金)・22(土)・28(金)・29(土)	9:30～16:30	19,000円
	はじめての機械製図入門	8/22(土)・29(土)・9/5(土)	9:30～16:30	8,000円
応用講座	5軸制御マシニングセンタⅠ「CAM操作編」	9/4(金)・11(金)・18(金)	9:30～16:30	12,000円
	5軸制御マシニングセンタⅡ「加工編」	10/31(土) 11/7(土)・14(土)・21(土)	9:30～16:30	16,000円

▶ 場所 兵庫県立ものづくり大学校

▶ 申し込みについてはこちら

詳細は当校ホームページの「在職者訓練」をご覧ください。

HP: <https://monodai.ac.jp/for-workers-about>



▶ 問い合わせはこちら

兵庫県立ものづくり大学校 在職者訓練課

TEL.079-240-7363

FAX.079-281-6626



**脱プラスチック
エコロジーハンガー**

販促用に名入れも
できます。台紙付き



香るDM

新商品の案内状にオススメ!
ハニカムより香りがします。
(石鹸・シャンプー・化粧品・入浴剤など)



**テイクアウト
ボックス**

キッチンカーでの販売に最適
揚げ物、丼物、カレーライスなど



卓上カレンダー

紙のリング使用
縦型・横型、他

オールペーパー製品 三井紙工株式会社

TEL.079-253-4477(代) FAX.079-253-7005 E-mail.info@mitsui-printing.com

ご興味のある方はぜひお問い合わせください。 オリジナル商品の相談も承ります。(担当:三井)

イベント告知

姫路みなと祭海上花火大会 2026

量も質も、大好きです

令和8年

9/20(日) 19:40～20:50

姫路港(飾磨地区) ※荒天中止

過去最大・県下最大の10,000発超の花火が夜空を彩ります。観覧場所からわずか300mの台船から打ち上げられる迫力満点の花火は、色とりどりの趣向を凝らした演出が自慢です。尺玉(10号玉)も豪快に炸裂し、腹の底まで響く音と光で皆さまを魅了します。今年は日本三大花火大会「大曲の花火」の花火師による特別演出もあり、量も質もアップし、最高の夜をお楽しみいただけます。

全席指定有料席

雑踏による事故を防止し、ゆっくりと安全・快適に花火を楽しんでいただけるよう会場エリアを設定。会場エリアに入場できるのはチケット購入者のみです。

チケット詳細等は、公式HPより、ご確認・ご購入ください。

公式ホームページは
こちら



交通規制について

会場周辺において交通規制を実施予定のため、大変混雑が予想されます。また、会場周辺に駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

問い合わせ

姫路みなと祭協賛会事務局 TEL.079-233-0558

チケットぴあコールセンター

☎ 017-718-8161